



牛乳食育研究会
乳の学術連合

平成28年度「乳の学術連合」学術研究

「食と教育」学術研究の公募

「牛乳食育研究会」は、「一般社団法人Jミルク」と共同して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得や食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みを推進するため、乳を活用した「食と教育」に関する学術研究を公募します。

申請締切日
2015
12/31木

募集研究テーマ

特定研究テーマ

- 1 「食に係る教育活動」における教育効果の評価法に関する研究
乳を活用した食に係る教育活動によってもたらされる教育効果及びその評価法の開発。
- 2 学校給食制度の歴史と意義に関する研究
学校給食制度の成立過程・歴史的背景・課題・現代的意義・今後の可能性に関する研究（海外との比較研究含む）。
- 3 「乳」に係る教育活動の比較研究
食品としての乳を受容する文化や歴史、牧場での体験学習に着目した教育活動などの比較研究（海外との比較研究含む）。
- 4 「乳の価値」の総合的な理解を育むための実践研究
乳の栄養科学・食文化・歴史・生産等について、総合的に理解するリテラシーを育むためのプログラム開発やその評価方法などに関する研究（成人向け教育を含む）。

一般研究募集テーマ

- 5 「乳」に関する教育的視点からの研究
特定研究以外で、乳に係る多様な教育的視点での研究。

上記テーマへの申請のうち 8 件程度を採用します。

※ここで言う「乳」とは、「食品としての牛乳・乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」を指します。

応募要項

- 応募資格** 国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関等で学術研究を行っている研究者等（大学院生含む）、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とします。
- 委託研究費** 年間一件当たり原則として100万円（消費税込）以内とします。
- 委託研究期間** 同一調査・研究課題に対する委託期間は、1年を基本とします。ただし、研究テーマによって複数年の研究が必要な場合は、研究計画にその理由と内容を明記してください。
- 選考方法** 審査委員会で各分野の専門家が審議決定します。
- 審査委員長** 角屋重樹（日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授）
- 副委員長** 田中博之（早稲田大学教職大学院 教授）
- 委員** 石井雅幸（大妻女子大学家政学部児童学科 准教授）
木村純子（法政大学経営学部市場経営学科 教授）
（委員は五十音順） 児玉浩子（帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科 教授）
鈴木由美子（広島大学大学院教育学研究科 教授）
長島美保子（公益社団法人全国学校栄養士協議会 会長）

詳しくは Web から学術研究実施要領をダウンロードしてください <http://m-alliance.j-milk.jp/>

一般社団法人Jミルク内「牛乳食育研究会」事務局

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番1号 築地三井ビル5階 電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354
URL : <http://m-alliance.j-milk.jp/> 担当：林雅典 E-mail : m-hayashi@j-milk.jp

別紙 3

Ⅲ. 「食と教育」学術研究の公募について（牛乳食育研究会）

乳を活用した「食に係る教育の新たな知見」に関する学術研究

1. 募集（申請）期間

平成 27 年 10 月 1 日（木）～平成 27 年 12 月 31 日（木）必着

2. 募集テーマ・内容

(1) 特定研究

No	テーマ	内容
①	「食に係る教育活動」における教育効果の評価法に関する研究	乳を活用した食に係る教育活動によってもたらされる教育効果及びその評価法の開発。
②	学校給食制度の歴史と意義に関する研究	学校給食制度の成立過程・歴史的背景・課題・現代的意義・今後の可能性に関する研究（海外との比較研究含む）。
③	「乳」に係る教育活動の比較研究	食品としての乳を受容する文化や歴史、牧場での体験学習に着目した教育活動などの比較研究（海外との比較研究含む）。
④	「乳の価値」の総合的な理解を育むための実践研究	乳の栄養科学・食文化・歴史・生産等について、総合的に理解するリテラシーを育むためのプログラム開発やその評価方法などに関する研究（成人向け教育を含む）

(2) 一般研究

No	テーマ	内容
⑤	「乳」に関する教育的視点からの研究	特定研究以外で、乳に係る多様な教育的視点での研究

※ここで言う「乳」とは、「食品としての牛乳・乳製品やそれを生産流通する産業としての酪農や乳業など」を指す。

3. 研究採用数

上記（１）、（２）をテーマとする研究計画の応募申請の中から 8 件程度を採用する。

4. 応募資格

国内の大学及び短期大学、専修学校、国・地方公共団体の設置する研究所、独立行政法人の研究機関

等で学術研究を行っている研究者等(大学院生含む)、またはこれに付随する研究を行っている個人の研究者等とする。

5. 委託研究期間

原則として、1年を超えないものとする。ただし、研究テーマによって複数年の研究が必要な場合は、研究計画にその理由と内容を明記する。また、研究の成果により、さらに研究の継続が必要な場合には、審査委員会の審査を経て、研究の継続を認めることができる。なお、具体的な委託研究期間は、委託研究契約書に明記することとする。

6. 委託研究費

年間一件当たり原則として100万円(消費税込)以内とする。

7. 選考方法

「食と教育」学術研究審査委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定する。

<審査委員会>

委員長	角屋重樹(日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授)
副委員長	田中博之(早稲田大学教職大学院 教授)
委員	石井雅幸(大妻女子大学家政学部児童学科 准教授)
委員	木村純子(法政大学経営学部市場経営学科 教授)
委員	児玉浩子(帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科 教授)
委員	鈴木由美子(広島大学大学院教育学研究科 教授)
委員	長島美保子(公益社団法人全国学校栄養士協議会 会長)

(委員は五十音順)

8. その他(問い合わせ先等)

詳しい内容は、下記 Web より<学術研究実施要領>をダウンロードしてご確認下さい。

<乳の学術連合 ホームページ> <http://m-alliance.j-milk.jp/>

<牛乳食育研究会>

乳の特徴を活用した食と教育の研究活動を通して、豊かな食体験及び総合的な食知識の習得、食に対する健全な態度の育成及び適切な食選択能力の向上などの教育的な取り組みをもって、生活者が生涯を通じて心豊かで健康的な生活を実現することに貢献することを目的とする一般社団法人Jミルクの外部連携組織。平成24年10月設立。

代表幹事 角屋重樹(日本体育大学児童スポーツ教育学部 教授)

<事務局・お問い合わせ先>

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7-1 築地三井ビル5F

一般社団法人Jミルク 内「牛乳食育研究会」事務局 担当:林 雅典

電話 03-6226-6352 FAX 03-6226-6354 E-mail:m-hayashi@j-milk.jp

以上